

第 1 1 節 関連団体

1 社団法人大牟田市シルバー人材センター

(1) シルバー人材センターの概要

<設 立>

法 人 格	社団法人
設立許可	昭和 6 1 年 4 月 1 日許可
	昭和 6 1 年 2 月 2 5 日任意団体設立

<目 的>

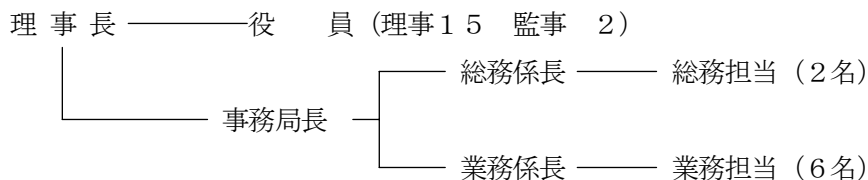
働く意欲と能力をもった高年齢者（60歳以上）に、生きがいつくりの場として臨時的かつ短期的なもの又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、組織的に提供することによって、高年齢者の能力の積極的な活用を図り、もってその福祉の増進に資するとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

<事業内容>

- ① 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- ② 高年齢者の就業に関する調査研究
- ③ 高年齢者の就業に関する相談
- ④ 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く）を希望する高年齢者に対するこれらの就業機会の確保と組織的な提供
- ⑤ 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る）を希望する高年齢者のための無料職業紹介事業
- ⑥ 高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
- ⑦ その他高年齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に関し必要な業務及びセンターの目的を達成するために必要な事業の実施

<機 構>

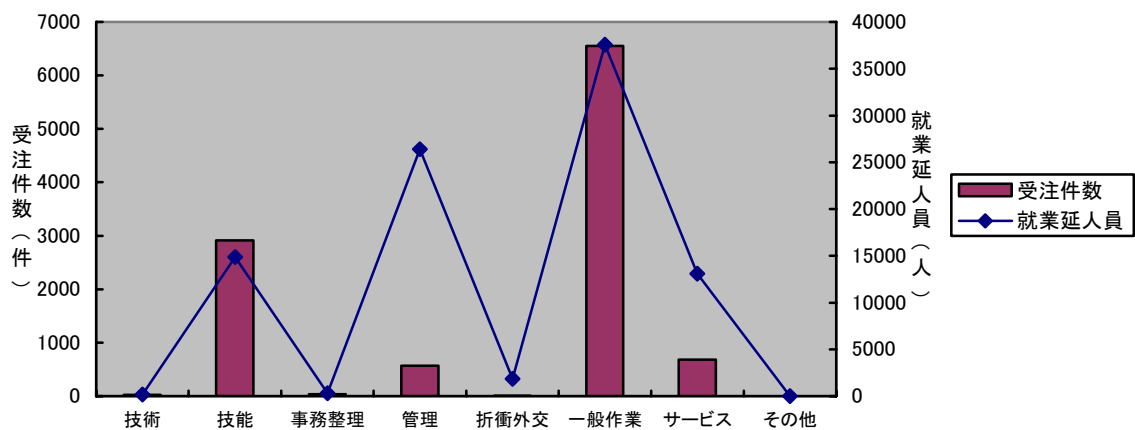
(平成 2 1 年 3 月 3 1 日現在)



(2) 平成20年度事業実績及び会員数

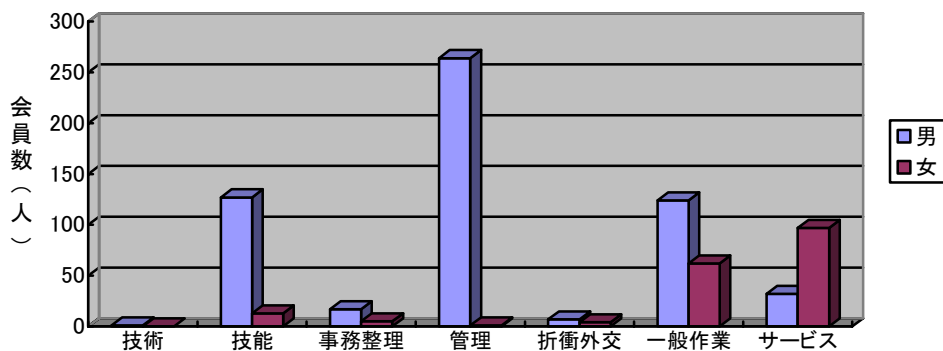
①事業実績（職種別）

区 分	受注件数	就業延人数	事 業 収 入	構 成 比
技 術	23	182	606,920	0.2%
技 能	2,912	14,860	73,310,182	25.9%
事務整理	37	305	273,315	0.1%
管 理	568	26,383	86,619,820	30.7%
折衝外交	8	1,851	1,196,845	0.4%
一般作業	6,554	37,562	87,902,387	31.1%
サービス	681	13,087	32,656,258	11.6%
そ の 他	0	0	0	0.0%
合 計	10,783	94,230	282,565,727	100%



②会員数（希望職種別）

希望職種	男	女	計	構成比
技 術	1	0	1	0.1%
技 能	127	13	140	18.6%
事務整理	17	5	22	2.9%
管 理	264	1	265	35.1%
折衝外交	7	4	11	1.5%
一般作業	124	62	186	24.7%
サービス	32	97	129	17.1%
計	572	182	754	100.0%



1) 事業実績

高齢者にふさわしい仕事を受注し、それぞれにあった仕事の提供を行い、高齢者の生きがい、福祉の増進、地域社会の活力に貢献することをめざしたが、厳しい経済環境の中で受注が減り、事業実績は、前年度より減少（前年度比-5.8%減）した。しかし、就業率については、適正就業の効果により、前年度より増加（前年度比 11.9%増）した。

2) 自主的な組織活動の強化

理事会のもとで6専門委員会を設置し、それぞれの所掌事務について活発な意見交換がなされた。

- ①総務委員会・・・会員の福利厚生充実のため、会員互助会の設立に向け準備
- ②業務委員会・・・配分金について金江員センターの実態を調査
受注方法を請負制度に移行するための意見交換
- ③適正就業委員会・・・未就業会員に対する就業対策
賠償事故、苦情等についての対応策等の意見交換
- ④安全・衛生委員会・・・安全就業対策基本計画、安全就業対策推進計画の策定
安全パトロールの実施
- ⑤女性委員会・・・女性会員の就業機会の拡大のため、子育て支援事業について準備
- ⑥広報委員会・・・会報の編集、普及啓発用リーフレットについて意見交換

3) 安全・衛生対策

安全・衛生委員会において就業中、途上に関する事故防止と安全確保、健康管理についての対策等を検討。就業現場への巡回指導を実施。特に、事故が発生した時点で、事故現場での検証を実施すると共に広く会員へ周知することで安全対策に対する意識の高揚と事故防止に努めた。

4) 奉仕活動と普及啓発活動

地域への感謝の気持ちを込め、公共施設の剪定、市内で開催されるイベントへの清掃奉仕活動等、積極的に取り組んだ。

地域の新聞社を通して広報啓発文を掲載し、地域住民へPR活動を行った。

5) 生活管理指導員派遣事業

平成19年度に引き続き、市からの委託事業として、自立を支援する必要がある高齢者を対象とした「生活管理指導員派遣事業」を行い、女性会員の就業拡大に努めた。

6) 独自事業

雇用開発センターの終息により、独自事業としてリサイクル事業を引き継ぎ、会員の就業機会の拡大を図った。

7) 職業訓練委託

福岡県立大牟田技術訓練校より、就職支援能力開発訓練教程リサイクル科の委託を受け、職業訓練を実施している。

2 社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会

根拠法令等	社会福祉法（第109条）	所管課	保健福祉総務課 地域福祉推進室
-------	--------------	-----	--------------------

(1) 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法に位置付けられ、住民の社会福祉に対する関心と理解を深め、地域における社会福祉の増進に努めるという目的理念のもとに、都道府県市町村の全国すみずみまで設立されている。民間組織としての「自主性」と住民や社会福祉関係者に支えられた「公共性」という2つの側面をあわせ持った組織で、地域住民による福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び事業の企画・実施等を行い、地域福祉活動の中心的な役割を担っている。

平成12年に社会福祉事業法が大幅に改正され社会福祉法となり、その第109条では、社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記された。

大牟田市社会福祉協議会は、昭和26年に任意団体として発足し、昭和47年に社会福祉法人の認可を受け、以来、大牟田市の地域福祉の推進役として住民のニーズにあった様々な事業活動を展開している。

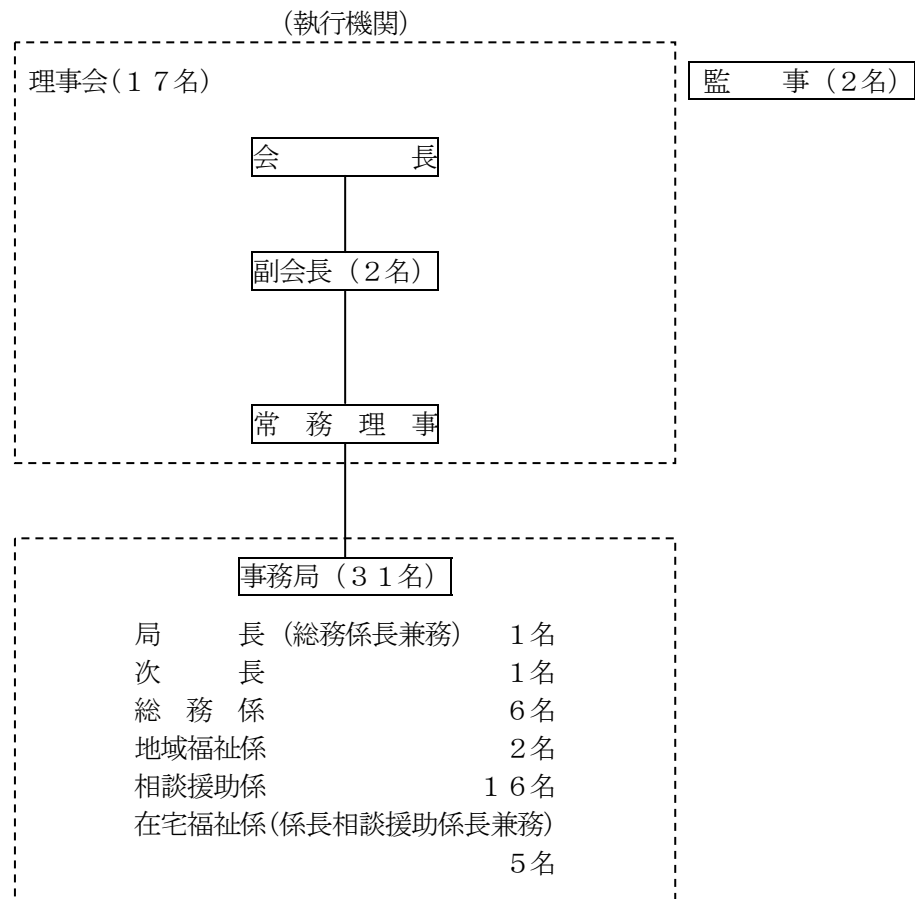
現在は、「地域福祉と住民参加」をキーワードに、地域における様々な生活上の諸問題を地域全体の課題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図る心ふれあう「誰もが安心して暮すことができるまちづくり」を目指し、校区社会福祉協議会とともに、見守り・相談・援助活動やボランティア派遣など様々な地域福祉活動に取り組んでいる。

(2) 社会福祉協議会の機構と組織構成

(平成20年4月1日現在)

評議員会（39名） (議決機関)

区分	所 属 名	評議員	理 事
1	校区社会福祉協議会代表	18名	5名
2	民生委員・児童委員代表	3	2
3	町内公民館連絡協議会代表	1	1
4	女 性 代 表	0	1
5	社会福祉事業施設代表	2	1
6	福 祉 団 体 代 表	3	1
7	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 代 表	2	1
8	社会福祉関係公務員代表	2	1
9	市 議 会 代 表	2	2
10	学 識 経 験 者	6	2
合 計		39名	17名



(3) 社会福祉協議会の実施事業

平成20年度事業においても、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる」まちづくりを理念として策定した第1次大牟田市地域福祉活動計画（平成17年度～21年度）に沿って、地域福祉活動の推進などを軸に取り組んだ。

活動指針1「住民参加による地域福祉活動の活性化」については、多様な福祉課題への迅速な対応を図るため、各校区に配置されている福祉委員に対しての研修会や活動報告会等を開催し、小地域ネットワーク活動の推進強化に努めた。また高齢者等の憩いの場、介護予防の場、子育ての場としてサロン事業を拡大していくとともに、住民こんだん会等を通し、地域住民の様々な声に耳を傾けながら、日常生活圏域である地域を基盤とした福祉活動の支援に取り組んだ。また、ボランティアセンターでは、一人暮らし高齢者等の孤独感の解消などを目的とした傾聴ボランティアの養成を行うとともに、障がい者のコミュニケーション手段の確保のための手話・点訳等のボランティアの養成に取り組んだ。

活動指針2の「心温まる福祉サービスの提供」については、高齢者、障がい（児）者に対する介護事業をはじめ、児童・母子に対する諸事業や住民の悩みなどを解決に導く総合相談事業、低所得者等に対する貸付事業（県社協受託事業）に取り組んだ。また、児童福祉対策事業である学童保育所運営事業（市受託事業）については、三池・高取・中友・白川・大牟田の各学童保育所で、世代間交流・地域交流など本会の独自性を活かし、地域に根ざした保育事業に努めた。さらにファミリー・サポート・センター運営事業（市受託事業）については、「フレンズピアおおむた」を拠点として、市が開設しているつどいの広場との連携により、総合的な子育て支援センターとして事業を展開した。

活動指針3「社会福祉協議会の基盤強化」については、介護保険事業収入が落ち込み等で、非常に厳しい決算となったが、賛助会員の拡大、福祉基金の活用、大牟田善意銀行の強化に伴う寄付金の増額などで、赤字幅を最小限度にとどめた。平成20年度は、公益補助を受け、総合福祉センターの修繕・改造に取り組んだ。さらに社協全職員を対象に研修会を開催し、スキルアップを図った。

1) 地域福祉の推進

①福祉委員制度と小地域ネットワーク活動の強化

平成18年度に福祉委員制度を設け、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯、障がいがある人などが、地域の中で孤立しないように声かけ・見守りや簡単な生活支援を行っている。支援するのは、福祉委員、近所の協力者(ボランティア)や民生委員・児童委員などであり、お互いに協力しながら、福祉のネットワークを広げている。平成20年度は福祉委員の任期満了による改選を行い、新たに361人を委嘱し、福祉委員の任務や活動内容についての研修を行った。

(福祉委員研修の実施状況)

対象校区	開催日	会場
笹原、天道、玉川	平成20年7月22日(火)	勝立地区公民館
駿馬南、駿馬北	平成20年7月24日(木)	駿馬地区公民館
大牟田、上官、大正、中友	平成20年7月29日(火)	中央地区公民館
みなと、川尻、諏訪	平成20年7月31日(木)	三川地区公民館
平原、白川、高取	平成20年8月4日(月)	総合福祉センター
三池、羽山台、銀水	平成20年8月6日(水)	三池地区公民館
手鎌、明治	平成20年8月9日(土)	手鎌地区公民館
吉野、上内、倉永	平成20年8月11日(月)	吉野地区公民館
追加研修	平成20年10月24日(金)	総合福祉センター
追加研修	平成20年12月5日(金)	総合福祉センター

②「地域福祉活動実施計画」の推進

平成19年度から20年度までの2年間で羽山台校区をモデル校区に設定し、地域の様々な福祉課題を解決するために、新たな福祉ネットワークの構築、各種ボランティア組織の結成など校区の基盤強化を行った。さらに、今後も住民自らが参加し、きめ細やかな福祉活動を展開していくための指針となる「羽山台校区福祉活動計画」を策定した。

③校区社会福祉協議会の支援

各校区社会福祉協議会相互の連携や地域福祉課題の解決と情報交換を目的として、年6回開催される連絡協議会を支援した。また、校区社会福祉協議会の福祉活動の充実と校区リーダーの育成を図ることを目的に、校区社会福祉協議会構成員研修会を実施した。

〔校区社会福祉協議会構成員研修会〕

- 【開催日】 平成20年7月8日(火)
- 【会場】 大牟田市総合福祉センター
- 【内容】 「校区社協における組織化の推進と基盤強化」
- 【講師】 筑紫女学園大学文学部准教授 山崎 安則氏
- 【参加者】 49人

④住民こんだん会の実施

平成18年度より市内23校区を対象として1校区を1~2分割して開催している。「隣近所のかかわり」や「身近な生活環境」等について地域住民と意見交換を行いながら地域福祉活動への理解を深めており、平成20年度は未実施である5校区、延9回開催した。

(住民こんだん会の実施状況)

校区	回数	概	要
高取	1回	【日時】 平成20年4月25日(金) 【会場】 高取団地公民館(29人)	午後7時~8時30分
みなと	1回	【日時】 平成20年9月10日(水) 【会場】 三川地区公民館(29人)	午後7時~8時30分

諏訪	1回	【日 時】 平成20年9月30日(火) 午後7時～8時30分 【会 場】 諏訪小学校(22人)
銀水	2回	【日 時】 平成20年10月3日(金)・10日(金) 午後7時～8時30分 【会 場】 久福木公民館(28人)・尾尻公民館(15人)
吉野	4回	【日 時】 平成20年11月13日(木)・14日(金)・19日(水)・20日(木) 午後7時～8時30分 / 午前10時30分～12時 【会 場】 吉野地区公民館(22人)・南橋集会所(26人)・白銀第一集会所(12人)

⑤団塊の世代を対象とした事業

地域福祉活動やボランティア活動に関する情報を掲載した“おおむたかわらばん”を発行し、市内企業26社へ配布した。(年2回・600部発行)

⑥ふれあいサロン事業の推進

地域に住む高齢者や子育て世代で、支援を必要とする人達が集まる憩いの居場所づくりに努めた。(登録サロン数 46団体)

⑦ふれあいサロンボランティア養成講座

高齢者や子育て世代を支援するための知識を身につけ、地域でふれあいサロン活動を実施することができるボランティアの養成講座を開催した。

1回目 (全3日)	【期 間】 平成20年6月18日(水)～7月2日(水) 【会 場】 駛馬地区公民館 【受講者】 延べ66人
2回目 (全2日)	【期 間】 平成21年2月10日(火)～2月17日(火) 【会 場】 吉野地区公民館 【受講者】 延べ75人

⑧ヤングボランティア体験セミナーの実施

市内在住の高校生、大学生を対象に実施。“ふれあいサロン体験、共同募金活動、ふれあい福祉まつりへの参加、手話・点訳や車椅子の体験学習”など様々な福祉活動を体験するセミナーを開催した。

- 【開催日】 平成20年10月12日(日)～11月24日(月)
全5回実施
【開催地】 総合福祉センター、上内小学校、ゆめタウン大牟田
【参加者】 延べ44人

⑨福祉座談会の実施

地域における困りごとや福祉課題について校区社協と市社協がともに考え、情報の共有や活動の相互理解を深めるために23校区社協を対象に開催した。

(福祉座談会の実施状況)

月 日	校 区	月 日	校 区	月 日	校 区
5月22日	手 鎌	9月24日	明 治	3月10日	駛馬南
7月5日	上 官	10月31日	諏 訪	3月16日	中 友
7月14日	天 道	11月17日	上 内	3月24日	川 尻
7月23日	高 取	12月23日	吉 野	3月24日	玉 川
7月30日	三 池	2月24日	みなと	3月25日	大 正
8月29日	白 川	2月25日	駛馬北	3月27日	笹 原
9月12日	銀 水	3月4日	大牟田	モデル事業振替	羽山台
9月19日	倉 永	3月5日	平 原		

⑩災害見舞金の支給

法外援護事業として火災等の被災者に災害見舞金を支給した。

	18年度	19年度	20年度
件数	23	12	11
支給額	230,000	120,000	110,000

⑪校区連協会長・民児協会長・社協会長合同研修会

地域のリーダーである校区連協会長・校区民児協会長・校区社協会長を一堂に会し、「地域ネットワーク」をテーマとした合同研修会を開催し、お互いの連携を図った。

【開催日】 平成20年8月27日(水)

【会場】 大牟田市総合福祉センター

【内容】 「被災地支援から学んだ地域のネットワーク化の必要性」
(講師) 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 矢野 剛夫 氏
「羽山台校区地域福祉活動モデル事業について」
(報告) 羽山台校区まちづくり実行委員 武藤 重徳 氏

【参加者】 68人

⑫校区社協会長視察研修

校区社協の福祉活動の取組みに反映させることを目的として、災害要支援制度に取り組んでいる先進地を視察した。

【視察日】 平成20年11月7日(金)

【研修先】 熊本県宇城市社会福祉協議会

【内容】 宇城市社会福祉協議会の小地域ネットワーク支援活動について

【参加者】 22人

⑬活動助成

地域福祉の向上を図る次の団体等に対して助成を行った。

- ・23校区社会福祉協議会
- ・大牟田市校区社会福祉協議会会長連絡協議会
- ・大牟田市民生委員・児童委員協議会

2) ボランティアセンター事業の実施

①情報提供と情報の共有化のための意見交換

ボランティア活動の活性化を図るために、ボランティアセンターの役割や活動の内容等を掲載したパンフレットの配布や社協だより等により、ボランティア活動の情報提供や啓発に努めた。

また、市生涯学習課のボランティア推進本部と事業内容、登録団体等について意見交換(年5回)を行い、各々に登録されているボランティア団体の性格や規模等の情報を交換するとともに、それぞれのボランティア活動の理解を深め、お互いの情報を共有していくことを確認した。

今後は、さらに連携を密にし、各々のボランティア情報を共有し、必要に応じ、相互にコーディネートできるような体制の一元化を図っていきたいと考えている。

②コーディネート機能の強化(ボランティアの登録・斡旋)

地域において、ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人を結びとともに、ボランティアが自分の希望する活動を選択できるよう、コーディネート(需給調整)機能の充実に努めた。

(ボランティアセンターの登録状況)

区分	18年度		19年度		20年度	
	人数	前年比 (%)	人数	前年比 (%)	人数	前年比 (%)
グループ (団体)	57	105.5	52	91.2	46	88.5
個人 (人)	351	109.0	195	55.6	209	107.2

(ボランティアの斡旋状況)

区分	主な斡旋内容	18年度		19年度		20年度	
		人数	前年比 (%)	人数	前年比 (%)	人数	前年比 (%)
個人	散髪、家屋内外の小修理、外出支援等	53	110.5	27	50.9	50	185.2
団体	散髪、デイサービスでの催事、学童での催事、各種イベント等	195	191.2	149	76.4	253	169.8
学校	障害者との交流、手話・点字の学習、車いす・アイマスク・高齢者疑似体験	55	77.5	38	69.1	37	97.4

③福祉教育の推進

小・中学校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めるとともに、ボランティア活動と地域福祉活動への参加促進を図った。

・ 福祉教育推進校の指定及び育成

児童・生徒の福祉教育の推進を目的として、中学校1校、小学校2校を福祉教育推進校に指定し、視覚・聴覚障がい者の人などを講師（ゲストティーチャー）として派遣した。

(派遣状況)

区分	18年度		19年度		20年度	
	人数	前年比 (%)	人数	前年比 (%)	人数	前年比 (%)
派遣件数	55	77.5	38	69.1	37	97.4

・ 福祉教育推進校連絡会の開催

福祉教育推進校が相互の連携を図るとともに研修や情報交換を行うため、連絡会を開催した。

④傾聴ボランティアフォローアップ養成講座

相手の気持ちに寄り添い、心を込めて話を聴く「傾聴ボランティア」の必要性和困難ケースへの対応のため、会員同士や活動先の施設・病院のスタッフとの意見交換の中で共通認識を持ち、さらには専門家からの助言・指導により必要な知識を習得する講座を総合福祉センターで開催した。

(養成講座の実施状況)

講座名	概要
傾聴ボランティア フォローアップ養成講座	【期間】 平成21年2月24日(火) 【会場】 総合福祉センター 【受講者】 31名

⑤手話・要約筆記ボランティア派遣

聴覚障がい者の社会参加を促進するために、体育大会、福祉活動、文化活動、通院等に手話奉仕員、要約筆記奉仕員を派遣した。

(派遣状況)

派遣内容		18年度		19年度		20年度	
		派遣件数	前年比 (%)	派遣件数	前年比 (%)	派遣件数	前年比 (%)
手話	派遣件数	226	100.0	193	85.4	228	118.1
	奉仕員数	282	100.3	227	80.5	308	135.7
要約	派遣件数	9	100.0	8	88.9	19	237.5
	奉仕員数	21	100.0	19	90.5	54	284.2

⑥ボランティア活動保険の加入状況

地域行事やボランティア活動等を支援するため、ボランティア活動保険の加入受付を行った。

加入者数	18年度		19年度		20年度	
	加入者数	前年比 (%)	加入者数	前年比 (%)	加入者数	前年比 (%)
	2,929	109.5	3,325	113.5	2,881	86.6

⑦情報提供と啓発

ボランティア活動の活性化を図るために、ボランティアセンターの役割や活動の内容等を掲載したパンフレットの配布や社協だより等により、ボランティア活動の情報提供や啓発に努めた。

⑧ボランティア団体活動助成

ボランティア活動を推進するため、次の団体に対し助成を行った。

- ・点訳奉仕「大牟田むつき会」
- ・大牟田手話の会「ありあけ」
- ・大牟田朗読の会
- ・大牟田要約筆記の会のぞみ
- ・大牟田市ボランティア連絡協議会

⑨ボランティア連絡協議会の組織拡大、活性化への支援の取組み

ボランティア活動が多様化・拡大する中で、ボランティア連絡協議会に対する期待も大きいところである。そこで、20年度は組織拡大を支援するため、研修視察、コア会議、ボランティアセンター登録グループ説明会等を行い、新たに3団体が加入し、全部で7団体となった。今後もさらに加入促進への支援を図っていく。

①研修視察…平成20年8月18日(月)

(研修先) 大野城市ボランティア連絡協議会、筑後市ボランティア連絡協議会

②コア会議…6回開催

③登録ボランティアグループ説明会…平成20年11月29日(土)に総合福祉センターで開催

④全会員へのアンケート調査…「ボランティア連絡協議会のあり方に関する調査」を実施

3) 総合相談事業の実施

①地域福祉権利擁護事業(福祉サービス利用援助相談)

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分なため日常生活に困っている人に対して、生活支援員を派遣し、自立した生活ができるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行った。

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)
人 数	15	125.0	16	106.7	16	100.0
件 数	186	110.7	167	89.8	166	99.4

②福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合、「第三者委員会」でその解決を図るため設置している。

③心配ごと相談

毎週火曜日に面接と電話による心配ごと相談事業を実施し、住民が抱える生活課題等の悩みの相談に応じた。

(実施状況)

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
面接件数	41	52.6	52	126.8	48	92.3
電話件数	45	69.2	43	95.6	45	104.7

④法律相談

毎月第3水曜日に弁護士による法律相談事業を実施し、複雑多様化する住民の相談に対して、法的な解決、高度な対処法について専門的なアドバイスを行った。

(実施状況)

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
件 数	119	82.6	93	78.2	101	108.6

4) 高齢者福祉対策の推進

①介護保険事業

訪問介護事業（ホームヘルプサービス）・訪問入浴介護事業（入浴サービス）・居宅介護支援事業（ケアプラン作成）を実施した。

(事業実績・件数)

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
訪問介護	9,449	88.8	8,004	84.7	6,832	85.4
訪問入浴介護	528	125.7	470	89.0	393	83.6
居宅介護支援	836	71.4	567	67.8	575	101.4

②介護予防・相談センターの運営（市受託事業）

地域包括支援センターのサブセンターとして、上官・平原校区を担当し、介護認定により要支援と認定された高齢者及び配食サービス等の保健福祉サービス利用希望者等に対して、介護予防プランを作成（628件）するとともに定期的な訪問を行うことにより高齢者の心身の健康保持、生活の安定のために必要な支援を関係機関、サービス実施事業者等と連携して実施した。

③在宅介護者の会の活動支援

在宅介護者に対する情報提供、介護負担の軽減、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」（会員数21人）の活動支援を行った。

- ・ 定例会及び介護相談の開催（月1回）
- ・ リフレッシュ事業（年2回）

④福祉機器貸与事業

在宅の要介護高齢者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延65人に無料で車椅子の貸出を行った。

⑤福祉団体活動助成

高齢者の福祉の増進を目的とする大牟田市老人クラブ連合会に対して助成を行った。

5) 障害（児）者対策の推進

①障がい者社会参加促進事業（市受託事業）

障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、手話、朗読、点訳、要約筆記の各奉仕員養成講座を総合福祉センターで実施するとともに、個人・団体等の要請に対して手話奉仕員、要約筆記奉仕員を派遣した。また、視力障害者の情報収集のために「点字や声の広報」を実施した。

- ・ 奉仕員養成講座の実施
（各講座の実施状況）

講 座 名		概 要
手話奉仕員 養成講座	入 門	【期 間】平成20年6月19日～11月20日（毎週木曜日22回） 【受講者】29人
	基 礎	【期 間】平成20年5月21日～11月26日（毎週水曜日27回） 【受講者】26人
朗読奉仕員 養成講座		【期 間】平成20年6月5日～8月7日（毎週木曜日10回） 【受講者】10人
点訳奉仕員 養成講座		【期 間】平成20年5月16日～7月18日（毎週金曜日10回） 【受講者】9人
要約筆記奉仕員 養成講座	基 礎	【期 間】平成20年8月2日～10月18日（毎週土曜日11回） 【受講者】9人
	応 用	【期 間】平成21年1月10日～2月21日（毎週土曜日7回） 【受講者】6人

(養成講座の修了状況)

講座名		年度		
		18年度	19年度	20年度
手話	受講者	46	56	55
	修了者	35	46	41
	入会者	18	24	15
朗読	受講者	12	26	10
	修了者	10	17	10
	入会者	8	15	10
点訳	受講者	11	10	9
	修了者	10	9	7
	入会者	4	9	5
要約筆記	受講者	33	18	15
	修了者	28	15	8
	入会者	11	5	3

・ 点字・声の広報発行

視覚障害者が地域生活をするうえで必要な情報などを点訳（点訳奉仕大牟田むつき会）、音訳（大牟田朗読の会）の方法により、定期的に提供した。

②障害者自立支援サービス事業

在宅の身体・知的障害者に対して、ホームヘルプサービスやガイドヘルプサービスを実施した。

(事業実績)

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
ホームヘルプ派遣数	1,676	100.8	1,564	93.3	1,745	111.6
ガイドヘルプ派遣数	770	68.5	1,290	167.5	1,338	103.7

③入浴サービス事業（市受託事業）

在宅の重度障害者に対して、市の委託を受け実施した。

(事業実績)

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
入浴サービス	160	88.9	233	145.6	351	150.6

④福祉機器貸与事業

在宅の障がい者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延 11 名に無料で車椅子を貸出した。

⑤福祉団体活動助成事業

障がい（児）者の福祉向上を図る次の団体等に対して助成した。

- ・ 大牟田市身体障害者福祉協会連合会

- ・知的障害（児）者団体
- ・大牟田市身体障害者相談員協議会
- ・小規模授産・共同作業所（5ヶ所）

6) 児童・母子福祉対策の推進

①放課後児童健全育成事業（学童保育所・指定管理運営）

放課後児童対策として、昼間児童の養育ができない家庭などの児童（小学校1年生～概ね小学校3年生）に対して、適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図った。

（入所児童数・平成21年3月31日現在）

学童名	児童数	学童名	児童数
三池	39	白川	38
高取	20	大牟田	38
中友	22	合計	157

②ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）と子育ての手助けをしてほしい人（利用会員）との相互援助活動を行った。

・協力会員養成講座の開催

第1回	6月4日（水）～7月9日（水）6日間（14人の登録）
第2回	10月28日（火）～11月26日（水）6日間（3人の登録）

・会員数及び活動状況

（会員数）

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
利用会員	652	122.6	660	101.2	664	100.6
協力会員	107	102.9	103	96.3	109	105.8
利用・協力会員	66	100.0	74	112.1	76	102.7
合計	825	117.5	837	101.5	849	101.4

（活動状況）

内 容	18年度 件数	19年度 件数	20年度 件数	前年比 (%)
保育所・幼稚園・学校・学童の登園登所前の預かり及び送り	80	59	66	111.9
保育所・幼稚園・学校・学童の迎え及び帰宅後の預かり	508	453	255	56.3
子供の病気時の援助	18	31	16	51.6
子供の習い事等の場合の援助	483	378	302	79.9
保育所・学校等休み時の援助	17	16	5	31.3
保護者等の短時間・臨時的就労・求職活動中の援助	25	47	12	25.5
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	9	2	1	50.0

保護者等の外出の場合の援助	70	91	65	71.4
保護者の病気、その他急用の場合の援助	15	2	5	250.0
その他	9	53	3	5.7
合 計	1,234	1,132	730	64.5

③福祉団体活動助成

母子寡婦の福祉向上を目的とする大牟田市母子寡婦福祉会に対して助成した。

7) 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託事業）

低所得者、高齢者や障害者等の世帯に対して、各種資金の貸付を行った。

(貸付状況)

(単位:千円)

	18年度		19年度		19年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
更生			1	800		
福祉	1	1,109	2	1,602		
住宅						
修学	8	17,883	7	17,528	10	12,247
災害						
療養						
離職者支援						
緊急小口	2	100	4	253	9	850
合 計	11	19,092	14	20,183	19	13,097

8) 大牟田善意銀行への預託

(預託状況)

(単位:円)

		18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
		一般	件数	572	100.9	533	93.2
寄付金	金額	11,389,441	102.4	9,896,934	86.9	10,601,820	107.1
指定	件数	55	261.9	—	—	—	—
寄付金	金額	1,223,000	119.6	—	—	—	—
計	件数	626	106.5	533	85.1	501	94.0
	金額	12,612,441	103.9	9,896,934	78.5	10,601,820	107.1
物品寄贈	件数	34	94.4	21	61.8	13	61.9

9) 賛助会員の拡大

地域住民とともに地域福祉を推進していくため、周知と会員の拡大に努めた。

(会員数の推移)

	18年度	前年比 (%)	19年度	前年比 (%)	20年度	前年比 (%)
会員数	410	135.3	412	100.5	423	102.7
金額	605,000	164.0	651,600	107.7	745,000	114.3

10) 市立総合病院ショップの運営

(事業実績)

	18年度	前年比(%)	19年度	前年比(%)	20年度	前年比(%)
売上金(円)	72,729,586	99.6	75,698,291	104.1	71,210,432	94.1
客数(人)	189,462	98.0	186,285	98.3	169,106	90.8

11) 共同募金運動の実施

赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい募金運動について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携して取り組んだ。

(募金実績)

(単位：円)

	18年度	前年比(%)	19年度	前年比(%)	20年度	前年比(%)
赤い羽根共同募金	17,583,100	99.4	17,457,806	99.3	17,230,722	98.7
歳末たすけあい募金	3,334,042	94.9	3,168,665	95.0	3,251,364	102.6

12) ふれあい福祉まつりの実施

「善意銀行開設45周年記念～みなさまの善意を感謝して～」をテーマに、大牟田市ボランティア連絡協議会との共催で「第9回ふれあい福祉まつり」を開催した。加えて、永年社会福祉活動に従事され地域福祉の向上に貢献された方々に対する表彰状・感謝状の贈呈を行うとともに、地域住民で支える福祉のまちづくり活動の取組みの啓発を行った。

開催日：平成20年11月24日(月/祝日)

会場：大牟田市総合福祉センター

内容：式典 社会福祉事業功労者表彰

記念講演 「笑って元気～必要とされる喜び」講師 矢野 大和さん

演芸コーナー 車椅子ダンス隊、太鼓演奏、その他各種団体による舞踊など

福祉体験コーナー 手話・点字の体験講座、車椅子・アイマスク疑似体験

健康診断コーナー 血圧測定を含む簡単な健診、健康診断など

レストラン・バザーコーナー カレー、田舎だご汁、焼きそばなど

参加者：約500人

被表彰者：137人

◇大牟田市善意銀行開設45周年(被表彰者61名)

感謝	表彰対象	推薦基準	人数
	永年賛助会員	永年賛助会員(継続10年以上)	61

◇大牟田市社会福祉協議会表彰(被表彰者76名)

区分	表彰対象	推薦基準	人数
表彰	ア. 市社協役員・評議員	在任期間4期以上のもの	4
	イ. 校区社協における実践活動者	10年以上校区における地域福祉推進活動が特に顕著と認めるもの	14
	ウ. 優良校区社協	地域福祉活動が他の校区の模範となるもの	1
	エ. ボランティアセンター登録者・団体	登録10年以上のもので、ボランティア活動が特に顕著と認めるもの	1
	オ. その他特に認めるもの		0

感謝	ア. 市社協役員・評議員	在任期間2期以上のもの	7
	イ. 校区社協における実践活動者	5年以上校区における地域福祉推進活動が顕著と認めるもの	24
	ウ. ボランティアセンター登録者・団体	登録5年以上のもので、ボランティア活動が顕著と認めるもの	11
	エ. 市社協事業運営協力者	登録5年以上のもので、市社協事業に協力・貢献したもの	4
	オ. 善意銀行高額寄付者	10万円以上の金品寄贈者	6
	カ. その他特に認めるもの		4
合 計			76

13) 機関紙の発行

年4回(4月、7月、10月、1月)全世帯を対象に社協だよりを発行した。

14) 総合福祉センターの運営

(利用状況)

	18年度	前年比(%)	19年度	前年比(%)	20年度	前年比(%)
会議室等 利用件数	1,725	76.4	1,293	75.0	1,216	94.0
ヘルストロン 利用者数	15,998	93.3	14,729	92.1	12,758	86.6
年間 利用者数	43,760	85.2	46,349	105.9	50,180	108.3

15) 各種委員会の開催状況

(事務局職員採用委員会の開催状況)

会議名	開催日	内 容
第1回採用委員会	10月6日	第1次合格者決定審査
第2回採用委員会	10月27日	最終合格者決定審査

(表彰審査委員会の開催状況)

会議名	開催日	内 容
表彰審査委員会	10月6日	大牟田市社会福祉協議会表彰推薦審査

16) その他

①職員研修

職員のスキルアップを図るとともに、社協の使命、基本理念等を職員全員が再認識し、事業展開していくために職員研修会を開催した。

②福祉バスの運用

校区社会福祉協議会や福祉団体等の活動の推進と利便を図るため、福祉バスを延82回貸し出した。

③リフト付バスの運用

交通手段の確保が困難な方を対象に車いすのまま乗降できるリフト付きバスを延29回貸し出した。